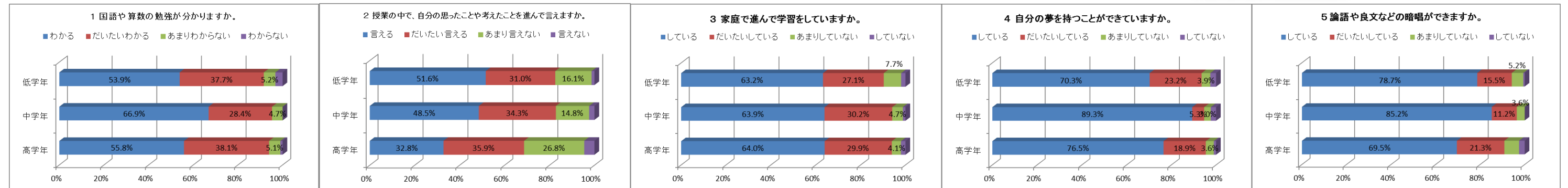




ここに示した10項目は、学校生活を送る上で、子供たち自身に自分自身を省みてもらう事と、2学期の生活をどのようにすごすかについて考えてもらうために行っています。今回の調査では、「2 授業の中で自分の思ったことや考えたことを進んで言えますか。」や「6 たくさん本を読むことができますか。」の項目で70％台になり、本校の課題であるといえます。



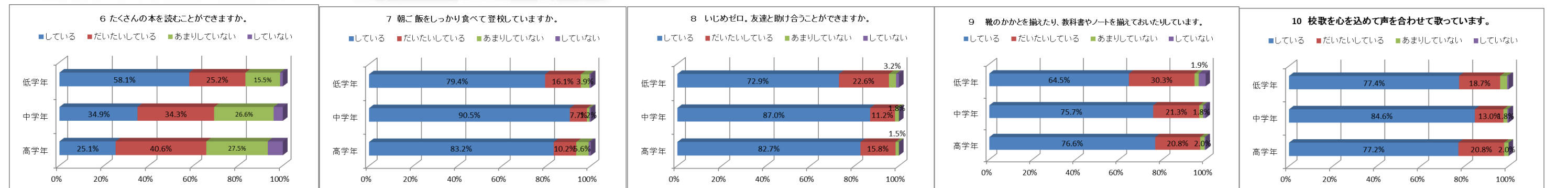
「国語や算数の勉強が分かる」と答えた児童は低学年91.6%、中学年95.3%、高学年93.9%となりました。授業の中で分かったという実感が持てているようです。個別指導で、分からないという児童も減ってきました。

昨年度も重点項目として取り組んできましたが、肯定的評価が78.0%と低い数値となっています。2学期も児童自身が自分の考えをもち、進んで意見を言え、主体的に学べる授業づくりを進めていきます。

肯定的評価が92.8%と前年と比べると、0.6%積極的な肯定が減っています。学校では引き続き、よいノートの紹介や家庭学習の仕方・進め方の指導を進めてまいります。ご家庭では見届けと励ましをお願いします。

深谷市としても力を入れている内容で、肯定的評価が94.5%となっております。全校児童が夢を持って夢に向かい努力していく子を目指しております。更にこころざし高い深小っ子を目指し、様々な取組を進めていきます。

肯定的評価が93.8%で前年度より、0.2%の上昇となりました。数字上はもちろんです。暗唱課題が発表されると、すぐに覚え、積極的に挑戦する児童も増えてきました。また、何度も挑戦する児童が見られました。



全校の肯定的評価が72.7%と本を読む児童数が低下しています。高学年65.7%、中学年69.2%、低学年83.2%と学年が進むと低下傾向にあります。読書週間をはじめ様々な取組を通して、本好きを増やしていきます。

肯定的評価が97.3%と前年度に比べて1.6ポイント下がりました。朝食は体だけでなく意欲や落ちつきといった心を育むエネルギーでもあります。午前中のガソリンです。引き続き、ご家庭のご理解をよろしくお願いします。

肯定的評価が97.4%と高い数値ですが、消極的な評価を0にではなくてはなりません。消極的な評価を減らすために、いじめを絶対に許さない心と行動力を育てて行くための取り組みや指導を進めていきます。

肯定的評価が94.8%と前年より1.6%の上昇となりました。靴のかかととはよく揃っていますが、授業準備に課題があります。1学期の重点目標『形をつくる・揃える』の習慣化も2学期に継続して行えるよう指導していきます。

今回も97.2%と高い数値となりました。校歌は主な式典だけで披露するのではなく、所属感を高め、郷土を愛する児童の育成にもつながるので、心を込めて歌える児童を育成してまいります。